

地域と連携した読書推進

福井県越前市花筐小学校

活用目的	読書指導		
------	------	--	--

本事例のねらい	地域と学校が連携・協働した読書推進を行うため
---------	------------------------

本事例の概要（学校図書館等を活用した項目に★印）

「花の子ぽけっと」がボランティア団体として活動するようになったきっかけとしては、学校から児童に読み聞かせをしていただける保護者を募集したことである。既存のメンバーが知人に声をかけることや、入学時のチラシ配付やPTA新聞への掲載、学校公開日にイベントを実施するなどの活動から新規メンバーが加入することがあった。そうしたボランティア団体として「花の子ポケット」が2002年に設立された。以来、約20年以上、毎週木曜日の朝、授業前の15分間、各教室で読み聞かせ活動をしている。担任も一緒に聞くことで、子どもたちの読書への興味関心を実感することができる。また、新しい本、ロングセラーの本等、考えられた選書のもとで読み聞かせを聞く児童の心に、ずっと留まる貴重な時間となっている。

夏は「こわいおはなし会」、秋の読書月間には「花の子ぽけっと劇場」といった全学年の児童を対象にしたイベントも実施している。花の子ぽけっと劇場は、学校公開日に行い、多くの保護者も児童とともに参加している。他にも、読み聞かせた本を「えほんのあしあと」という冊子にまとめ、毎年卒業生に贈る活動を継続している。また、図書室に「花の子ぽけっと文庫」を設け、おすすめの本を紹介している。

ボランティア募集のチラシ	児童への読み聞かせ
	

本事例に関わった人（いる場合は○を選択してください）	実践のポイント
<input type="checkbox"/> 学校司書	読み聞かせ活動は、年間15日程度を予定しており、新学期前に学校が日程調整を行い、メンバーの都合に応じて各学級へ割り当てを行っている。また、イベントの際にも日程調整をし、前日から準備を行っている。
<input type="checkbox"/> 司書教諭	
<input checked="" type="checkbox"/> その他の学校職員	
<input type="checkbox"/> ボランティア	
<input type="checkbox"/> 公共図書館職員	
その他	左の具体的内容を選択してください (その他の具体的内容を入力してください)

資料	
----	--